



中学生による施設清掃のボランティア。総合学習の導入もあり、ボランティア専攻の生徒も多い(写真提供：仙南村)、登録すると発行される会員証と階級を表すゴールド・シルバーのバッジ(写真下)

後三年の役「古戦場」として知られる仙南村。少子高齢化による家庭機能の低下に伴い希薄となった近隣の助け合い「精神を、活動を客観的に評価するポイント制度」導入で促進する、新たなボランティア支援形態に取り組んでいます。

## 相互扶助活動促進による地域活力の回復（仙南村）

「ボランティア」参加を

身近にする動機づくり

県内陸部、横手市に隣接する仙南村。かつて古代史上有名な「後三年の役」が展開された古戦場として知られる地です。村内とその周辺には、往時を想わせる旧跡や逸話が数多く存在します。

仙南村もやはり高齢化が



進行しているのは同じ。65歳以上の人口割合は本県平均を上回る27%強(平成12年)、人の手が必要な高齢者も増えています。

これまで地域のボランティアグループが地道な活動を続け、これら世帯・施設をバックアップしてきました。村内では、ボランティア意識はあるものの、具体的にどう活動すればいいのかわからない住民も多くいました。そこで村では、平成12年、一定のルールの下に全村的にこうした取り組みを展開できないものか検討を始めました。こうして生まれたのが「ボランティアポイント制度」です。

従来から活動を続けてきた方々の中には、「ボランティア精神に欠けるのでは」と懸念する意見もあったようですが、「まず動機づくりから」を最優先に話かまとなり、翌年5月に実施となりました。



会員が活動を記録する手帳。ボランティアの内容を記入したあと活動先や団体長に確認印をもらい、後日福祉協議会に報告するしくみ。空欄を埋めていく楽しみもあります。

## ポイントの楽しみと 客観的評価への喜び

この制度は、村社会福祉協議会に登録した村内外の住民が対象で、在宅・福祉施設の慰問、清掃、雪寄せ、手伝い、地域の清掃、プルタブ・アルミ缶収集、点訳、手話など、ほとんどのボランティア活動を網羅し、コード化して記録されます。会員は活動手帳に内容を記入し、施設の管理者や協議会窓口を確認印をもらいポイントを得る仕組みです。ポイントは、活動時間の長さによって、90分以内が1点、半日が2点、1日が3点となっていて、10点たまると村内の飲食店「フォーラムハウス」の食事券1枚、20点で村温泉施設「湯」と「ぴあ」回数券5枚、40点で食事券・入浴券それぞれ5枚がもらえます。また、60

点で村社会福祉協議会長表彰（階級モシールバーからゴールドへ）、1



特養での活動。会員の中にはベテランの方々も。(写真提供：仙南村)

00点で村長感謝状が贈呈されます。さらに、200点を獲得すると階級は「達人」となります。

こうしたポイントの累積と同時に、記録された自分の活動実績は、客観的評価として実感とともに次の活動への励みになっていくようです。これまでの漠然とした大多数のボランティアへの参加意欲に、次のステップとも言える「継続性」を与えています。

### 生涯学習と青少年育成

#### 地域・世代交流の実践

活動が活性化すると、さまざまな年代の住民が同じ目的

のために参集するようになり、そこには必然的に世代をこえた交流が生まれます。雪掻きのスコップの扱い一つでも「親より他人の言うことは聞く」、子供たちもいるように、若年者のボランティア精神育成・社会行事参画などにも効果が見られるようです。

また、活動の中にはヘルパー等専門知識を習得するための研修会への参加が必要なものもあります。中高年の会員が、ボランティアをきっかけにさまざまな学習に取り組む動きも見られます。

今後会員が増加することにより、さらに住民間の交流や個人・地域の活動が促進されることが期待されます。

### 目標は全村民登録による

#### 「ボランティアの村」

これまで全体の実態が把握できなかった草の根的なボランティア活動が、ポイント制導入により明らかになってきたこともメリットとしてあげられます。また、活動中の事故にも、参加者を事前に把握することにより保険等で対処できるようになりました。

昨年1年間の実績で登録

者数は約600人のべ活動人数は3,172人にも上りました。村社会福祉協議会によると、当面の目標として、

のべ人数を村人口の約8300人まで引き上げたいとのこと。また、登録の少ない、村外に通学する高校生の参加を促していきたい、とも、「最終的には村民全員が登録するぐらいまで気運を高めていきたいですね」と協議会では話しています。

「ボランティアをもっとわかりやすく」と始まった事業が、今では村の特色となるまでに成長しています。



独居老人宅等の雪下ろし活動。世代間の交流も生まれます。(写真提供：仙南村)